

2025年4月14日

カンロ株式会社

【第 75 期定時株主総会 質疑応答記録】

質問 1

中期経営計画において米国市場に本格参入を目指すとするが、欧州や東南アジア諸国等への海外展開の計画に関して教えてほしい。

回答

まず米国市場に着眼した理由についてご説明申し上げますと、魅力的な市場であるという点が大きく、具体的にはグミ市場としては日本の約 11.5 倍の市場規模があること、国別の一人当たりの消費金額が日本の約 3.2 倍であることが挙げられます。

また、当面は既に進出している中華圏および米国市場への進出を軌道に乗せることを優先課題として捉えておりますが、東南アジア地域についても、十分に目を配るべき市場であると認識しております。ただし、欧州市場への参入については、さらにその先にある検討課題と考えております。

質問 2

今年はカンロ飴が発売 70 周年を迎えると思うが、何か施策があるのであれば教えてほしい。

回答

現在、世の中の皆様に喜んでいただけるようなカンロ飴 70 周年施策を検討しております。カンロ飴 70 周年施策を成功させ、カンロ飴を 100 年、もっとその先の未来へと繋いでいきたいと考えております。

質問 3

「2025 年度業績予想（通期）」の当期純利益が横ばいの理由を教えてください。

回答

2024 年度は賃上げ促進税制等の軽減措置に加え、税率が下がる特殊要因がございました。これに対し、2025 年度については賃上げ促進税制等の適用自体はございますものの、特殊要因の部分が無くなった影響により実効税率が若干上がってしまうことが主たる理由です。

質問4

米国事業について現時点でのリスク及び課題は何があるのか。併せて、売上が見込まれるのはいつ頃になるのか教えてほしい。

回答

市場適応の難しさ、市場競争・価格競争の苛烈さ、関税問題を含むコストコントロールの課題、法規制の違い、流通チャネルの確保等が挙げられます。それらに対しては、まず米国内に現地法人を予定どおり設立し、次にその現地法人のパートナー事業者を選定して参りたいと考えております。そのうえで、現地の流通業者・広告代理店等とも連携を深めながら、各リスク・課題に対して一つ一つ対処して参ります。

また、（ピュレグミでの）米国向け輸出による売上が計上されるのは、現時点では、2025年7月以降を想定しております。

以上